取扱説明書 保管用

yamada

屋外用・足下灯専用埋込ボックス

（コンクリート打放し仕上げ使用可能型）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕　様

品　名	適合する専用器具の品名
TG-181	AF-4835・AF-4337
TG-182	AF-4836・AF-4838
TG-205	AD-4937・AD-4938
TG-265	AF-4572

この取扱説明書のマークについて

⚠警告　説明書中の「警告」は重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠注意　説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⃠　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

壁面埋込専用型
この埋込ボックスには専用の器具が取り付きます。取り付けの際には、専用器具（別売品）を別途ご用意ください。
専用器具の適合品番は上の「■仕様」の表をご覧ください。
★指定以外の器具は取り付けることができませんのでご注意ください。

⚠警告

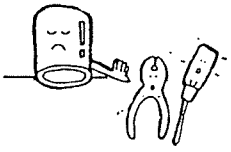
❗ 必ず排水処理管工事を行ってください。
★水がたまり、火災や感電の原因となります。

⃠ 次のような場所には取り付けないでください。
○壁面埋込以外の場所
★器具の破損やケガの原因となります。
○設置の際は、垂直以外の壁面に取り付けないでください。
★防水性能が損なわれ、感電や漏電事故の原因となります。また器具の破損、焼損の原因となります。
○浴室など湿気の多い場所への使用。○サウナへの使用。
○冠水する恐れのある場所への使用。
★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

⃠ 特に断りが無い場合を除き、腐食性の強い蒸気が発生する場所（温泉地など）では使用しないでください。
★サビ、変色の原因となります。

⃠ 取り付け方向指定されている器具は、取扱説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具転倒による「けが」の原因となります。

⃠ ドライバーなど異物を差し込まないでください。
★防水性能が損なわれます。



⃠ 使用器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⚠注意

❗ 専用器具はAC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。
低い電圧で使用すると、不点灯やチラツキなどの不良点灯や、器具の故障の原因となります。

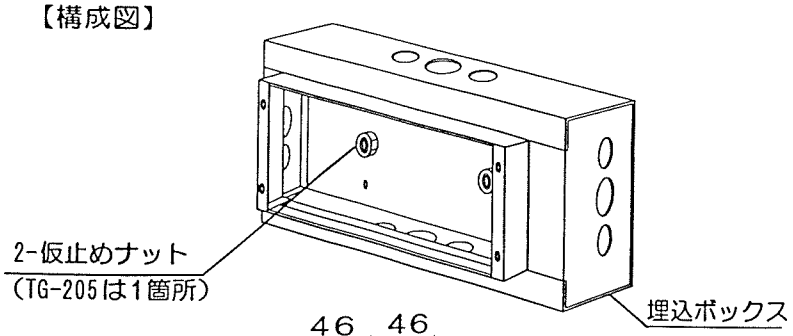
❗ 使用地域の周波（50ﾍﾙﾂまたは60ﾍﾙﾂ）にあった専用器具を使用してください。
★間違って使用すると、火災の原因となることがあります。

⃠ 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★異常加熱による、器具の故障や、破損の原因となります。

⃠ 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質などの原因となります。

各部の名称 （説明図は、一部を省略抽象化した図です。）（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

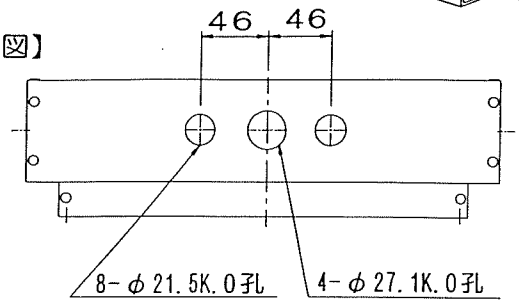
【構成図】



【付属品】

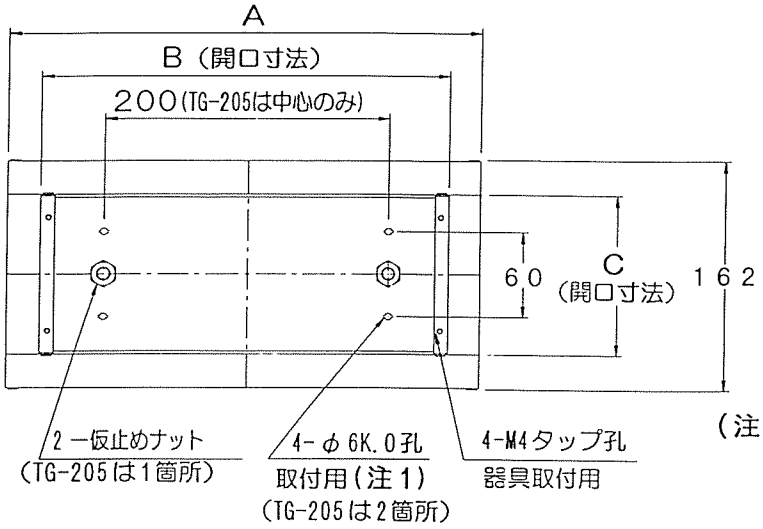
品名	ボルト（全長mm×本数）	ナット・ワッシャー（数量）	テンプレート（枚数）	取扱説明書（本書）アフターサービスのしおり（別紙）
TG-181	130×2	2	1	1
TG-182	130×2	2	1	1
TG-205	130×1	1	0	1
TG-265	140×2	2	1	1

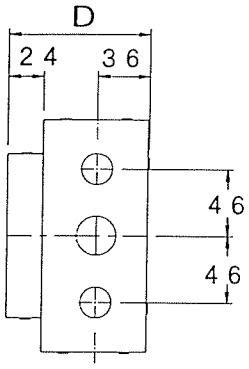
【寸法図】



【埋込ボックス外形寸法】

品名	A(mm)	B(mm)	C(mm)	D(mm)
TG-181	280	235	113	96
TG-182	330	285	113	96
TG-205	□162	□102	102	96
TG-265	380	321	110	106





（注1）このK.0孔は埋め戻し方法で取り付ける場合に使用する取付用です。
コンクリート打放し等の、流し込みで取り付ける場合には使用しません。

取り付け場所の確認

⚠ 警告 ❗ コンクリートの壁面埋込専用です。壁面埋込以外の床への埋め込みや土中埋設はできません。
必ず排水処理管工事を行ってください。
★水がたまり、火災や感電の原因となります。

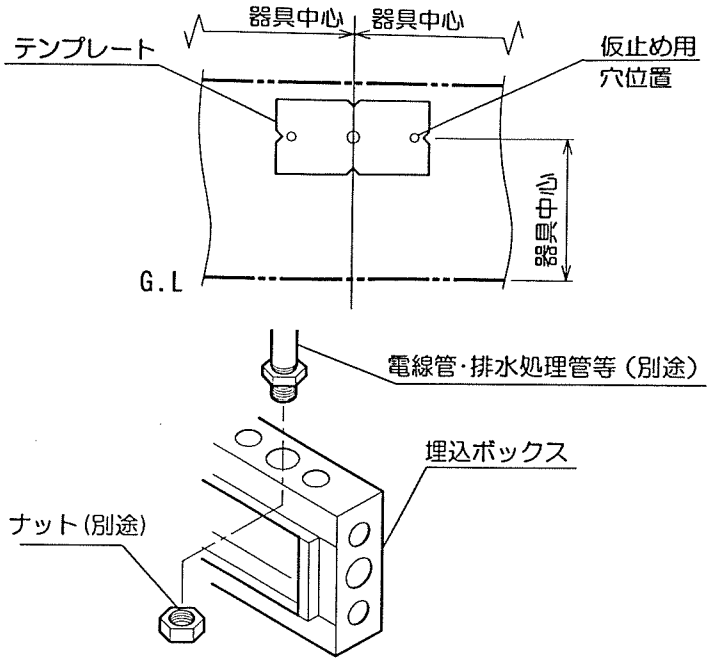
⚠ 注意 ❗ この埋込ボックスには専用の器具が取り付きます。取り付けの際には、専用器具（別売品）を別途ご用意ください。
専用器具の適合品名は「■仕様」の表をご覧ください。
器具の取り付けは、専用器具の取扱説明書にしたがって、取り付けてください。
★指定以外の器具は取り付けることができませんのでご注意ください。
縦付・横付取り付け可能型です。
★説明は横向きですが、縦方向も可能です。（TG-181・182）
取り付けの際には、専用器具の取り付け方向に従ってください。

取り付け方

⚠警告 ❗ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行なってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

●取り付ける前に　説明はコンクリート流し込みの取り付け方法ですが埋め戻しでの取り付けも可能です。

- 埋込ボックスを埋め戻して取り付ける場合には、コンクリートを流し込む前に上の【寸法図】を参照してください。そして、本体よりも充分大きい捨てボックス（別途）を備え付け、電線管・排水処理管を配管してください。
- 取り付けには、本体の4-φ6K.0孔（TG-205の場合は2箇所）を使用してください。



1．コンパネに仮止め用の穴を開けます。

[TG-181・182・265の場合]
器具を設置する位置のコンパネに、付属のテンプレートをあてがい
φ10～φ11の穴を2箇所開けます。
[TG-205の場合]
中心に1箇所φ10～φ11の穴を開けます。
（付属テンプレートはありません。）

2．電線管を接続します。

本体のノックアウト孔を開け、電線管を接続します。

3．排水処理管を接続します。

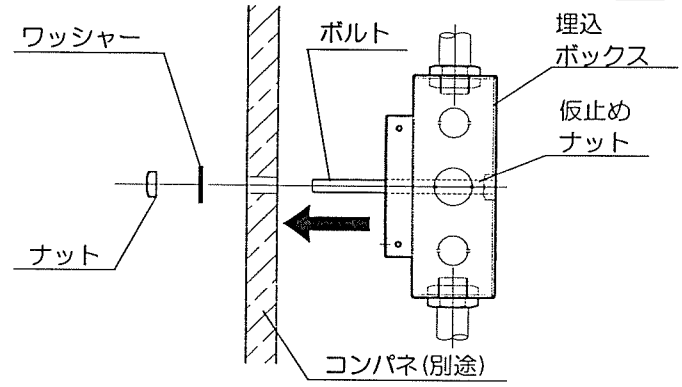
本体の下面側のノックアウト孔を開け、排水処理管を接続します。

4．埋設ボックスをコンパネに取り付けます。

① 付属のボルトを本体の仮止めナットにセットし、コンパネに開けた仮止め穴に通します。

② 付属のワッシャーとナットでコンパネに固定します。

⚠注意 埋設ボックスは水平にセットしてください。
埋込ボックスが傾いている場合には、水平に直してください。



5．コンクリートを流し込みます。

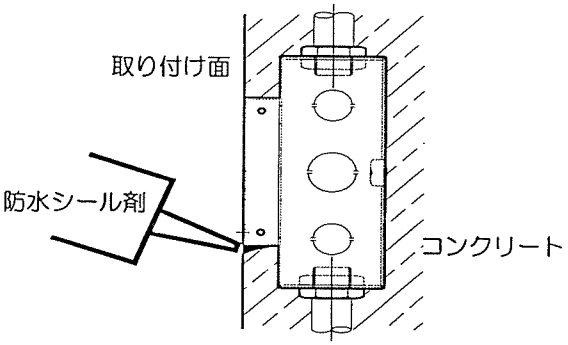
6．コンクリートが固まったらナット・ワッシャー・ボルトをはずしてコンパネをはがします。

① 埋込ボックスとコンクリートの間に隙間がある場合には、防水シール剤で防水処理を施し隙間をふさいでください。

② 取り付け面からはみ出した余分なシール剤はヘラ等で落としてください。落とす際シール剤が本体内に入らない様にしてください。

⚠注意 本体内に入った場合、ただちに拭き取ってください。
そのままにしておくと、シール剤が邪魔になり器具が取り付けられない原因となります。

③ はずしたナット・ワッシャー・ボルトは必要ありません。
破棄する場合、定められた方法で処分してください。

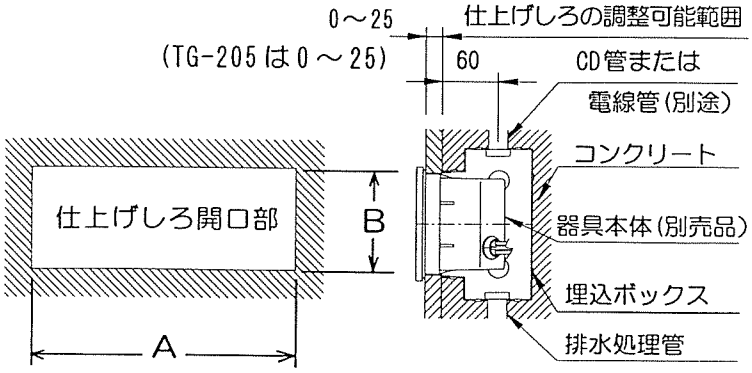


7. 仕上げしろを調整し器具を取り付けます。

●コンクリート打放し仕上げの場合、器具をそのまま本体に固定します。詳しくは裏面の器具の取り付け方の欄ならびに専用器具の取扱説明書にしたがってください。

●器具本体がタイル貼り仕上げ等によって、埋込ボックスから1mm以上浮いて取り付ける場合、仕上げしろ開口寸法は（表1）にしてください。
取り付け前に調整してください。

●埋込ボックスと器具との関係



仕上げしろ（厚さ）が25mm（TG-205は5mm）以上の場合、器具付属の固定ネジでは固定できません。その様な場合には、器具取り付け場所の構造を確認のうえ、適切な長さのネジをご用意ください。

（表1）

品名	仕上げしろ開口寸法	
	Amm	Bmm
AF－4572	316	95
AF-4535・4537	230	108
AF-4536・4538	280	108

器具の取り付け方　⚠注意　❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

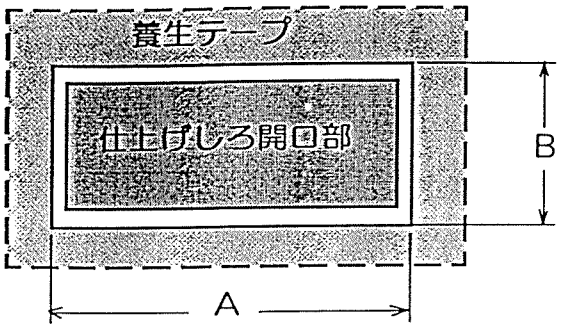
⚠警告❗　器具の取り付けは、説明書に従い確実に行なってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

●取り付ける前に

● 埋込ボックスの内部に入り込んだコンクリート片（とろ）などの異物は、必ず取り除いてください。

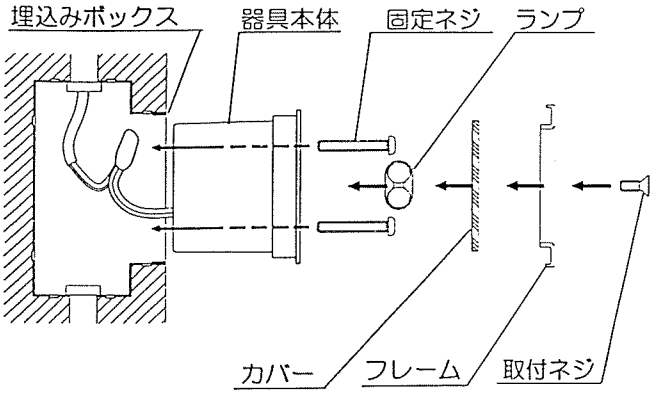
● 電源線の配線を完了してから行ってください。
電源線は仕上しろより100 mm引き出しておいてください。

TG-181・182は器具本体を取り付ける際、本体と取り付け面の間は防水シール剤で防水処理を行います。（TG-205・265は不要）
美しい仕上げにする為、仕上げしろ開口部の取り付け面に対して事前に、以下の寸法で養生テープ等で養生してください。



養生テープ内径寸法

品名	Amm	Bmm
AF-4535・4537	238	118
AF-4536・4538	288	118



1. 電源線と器具のリード線を接続します。
（詳しくは、器具の取扱説明書をご覧ください。）
2. ランプをセットして点灯試験を行います。
3. 器具本体のかかりしろに防水シール剤を充填し埋込ボックスに合せ入れます。
（詳しくは器具の取扱説明書をご覧ください。）
4. 器具付属の固定ネジにて固定します。
（器具が、がたつかないように固定してください。）
取り付け面の養生テープを剥がしてください。
5. 器具のカバーとフレームを取り付けます。
（詳しくは、器具の取扱説明書をご覧ください。）

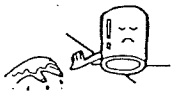
お手入れについて　⚠注意　❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を　：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠注意

❗ ●ランプの交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

●スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。
★火傷の原因となります。
●濡れた手で触らないでください。　★感電事故の原因となります。



●ランプは乱暴に扱わないでください。　★ランプが割れてけがをする恐れがあります。
●適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しいランプをご使用ください。
★不適合なランプを使用すると異常加熱による火災の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の品名（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。